

## 追 悼 名 譽 会 員 工 学 博 士 桂 弁 三 君

桂 弁三君は昭和 36 年 1 月 25 日、88才の高齢をもつて逝去せられ、1 月 28 日東京都文京区蓬萊町高林寺において葬儀が執り行われた際、 会長が本会を代表して弔辞を捧げました。ここに同君の冥福を祈り、つつしみて哀悼の意を表します。



### 弔 辞

日本鉄鋼協会名誉会員、東京大学名誉教授工学博士桂弁三先生の訃報に接し、洵に痛惜の念に堪えず謹んで哀悼の意を表するものであります。

先生は明治 31 年東京帝国大学工科大学採鉱冶金学科を卒業せられ、製鉄事業および非鉄冶金学研究のため欧米に出張せられました後東京帝国大学教授に任ぜられ、定年御退官と共に名誉教授とされました。この間先生はひたすら後進の薫育指導に精進せられると共に日本鉱業会々長、工学院大学理事、また多数の学術研究委員会の委員または委員長としてわが国学術技術の進歩発達に貢献せられ、なかならず日本学術振興会非鉄冶金研究委員会の委員長として、非鉄冶金の研究に力を尽されましたが、その画期的な発展は先生の貴重な御研鑽に負うところ洵に大であり、この御功績は先生の崇高な人格と卓越せる識見によるものでありまして他のよく追隨する能わざるものであります。

特に本会に対しましては、大正 4 年 2 月創立以来評議員として多年に亘り本会事業発展のため格段の御尽力を賜わり、協会今日の隆盛を得ましたことは先生の御功績に負うところ大なるものがあると信ずるものでありまして、会員一同深く感銘しておるところであります。

今俄かに先生の如き斯界の権威者を失いましたことは本邦科学技術界の一大損失でありまして、邦家のため洵に痛惜に堪えざるところであります。

茲に先生の偉大なる御功業を偲ぶと共に哀悼の誠を捧げ以て弔辞といたします。

昭和 36 年 1 月 28 日

日本鉄鋼協会々長 浅 田 長 平